



だ け ど

馬主

第416回

〇〇〇〇 数学者

藤田岳彦



◆藤田岳彦 (ふじた・たかひこ)

1955(昭和30)年、兵庫県生まれ、灘中高から京都大学理学部卒。京都大学理学部数学教室助手や講師、一橋大学教授を経て現在は中央大学理工学部教授。専門は数学(確率論)。数学オリンピック財団理事長を務め、数学に関する著書多数(ギャンブルやゲームと数学に関する著書もあり)。高校教科書の執筆も行う。一口馬主としてグレーブブランドやプラストワンピースなどに投資。2013年にJRA個人馬主に。現在は新潟馬主協会会員(同協会発行「夢を追って」にコラム「確率と競馬」を連載中)、東京馬主協会会員、兵庫県馬主協会会員。18年にはグリーンチャンネル「競馬場の達人」でブラス収支を残した。主な所有馬はストキャステイク、エーデルノカゼなど。

まず個人馬の近況から。白川特別で5着だったストキャステイクの次走は7月福島の信天山特別の予定でしたが、骨瘤が出てしまい予定を延ばしました。骨瘤が治れば問題ないので北海道参戦の予定です。エーテルノカゼは6月18日の阪神1R、ダ1400の牝馬限定未勝利戦に団野大成騎手で出走予定です。調教もなかなかいいので期待します。クアンタムリープは5月25日の園田で久しぶりに勝利しました。去年の11月末に勝って以来、2着5回3着1回4着1回と好走していたのですが、久しぶりに勝ててうれしいです。暑さに弱かったり少しツメが悪かったりするので、じめじめした梅雨は休養に充てる予定です。また、コールザチューンと入れ替えて、去年のサマーセール(兵庫県馬主協会の補助金がありました)で購入したコパノリッキー産駒のウエルノウン(現在日高のNYSで育成中)が入厩し、7月に新馬デビューする予定です。ウエルノウン(Well Known)は母馬モズエエヤンのエエ(Well Known)というフレーズはよく出てきます。文字通りWell Knownの馬になってほしいです。

中央大学の講座「競馬の世界」

授業週	講座内容
1	オリエンテーション
2	競馬・JRAの概要
3	競馬のプロモーション戦略
4	JRAのギャンブル等依存症対策
5	競馬の魅力
6	競馬の数理(確率論)・調教師の世界
7	インターネットを活用した販売戦略
8	競馬のコンピュータシステムと情報サービス
9	世界の競馬
10	競馬の舞台装置(スタンド・コース)
11	データの活用
12	競馬番組・競走体系
13	映像コンテンツとしての競馬
14	馬事振興への取り組み
※	東京競馬場見学

さて残りは私の大学、中央大学で行われているJRA寄付講座「競馬の世界」を紹介します。中央大学商学部の総合講座で、正式単位が取れる科目として開講されています。JRAから私を通じて中央大学の寄付講座を開きたいという依頼があり、所属の理工学部より商学部の方が合っているという判断で、商学部の先生たちの協力を得て開講しました。途中コロナで2年休みしましたが、2017年から開講されています。現在は600人を超える履修者(他学部履修も可能なので)があり、途中で府中競馬見学会(今年は6月24日)もある人気の授業です。JRAの職員の方々やアナウンサーの中野雷太さん、大竹正博調教師ら(前には奥村武調教師にも来てもらいました)、皆で分担し14回の講座があります(別表参照)。今年の5月17日は中野雷太さんの講座で、競馬アナウンサーを志した動機や心掛けていること、また実際に担当した実況動画などを流し、学生たちにも大変評判がいいです。5月24日は私藤田と大竹調教師の回で、私がまず簡単な競馬と確率の話をし(オッズ

中央大学で開講し学生たちにも人気のJRA寄付講座「競馬の世界」大竹正博調教師をはじめ競馬界で活躍する人たちも登壇しています



私と大竹正博調教師も1講座を担当。学生たちは大竹調教師の話に熱心に聞き入り授業後にも質問する姿が見られました



を計算する宿題も出しました)、大竹調教師には調教師という仕事の実際の内容や面白さ、大変さなどを紹介いただき、その後はストキャステイクやアコクローの勝った動画を見てもらい、大竹調教師に勝因などをお話いただきました。最後には大竹調教師が「藤田先生は競馬専門週刊誌ギヤロップに『〇〇だけど馬主』というコラムを連載しており、このように、〇〇だけど××』という二足のわらじ、三足のわらじを履くことは人生にとって大事ですよ』というありがたいお言葉を学生に向けて発していただきました。

授業後には、大竹調教師のところにもたくさんの学生が質問に来て(私のところにも少数の学生が馬主になるにはどうしたらいいですか?という質問にきました)、真摯に対応しておられました。最後はJRA職員の方を含め関係者で意見交換を行いました、大変有意義な一日でした。